

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まごころ		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習時間を設けて、宿題や、音読時間をしっかり行っているところ。また、言語療法士を取り入れて言語理解を取得できるところ。	学習時に、自分で進んで学習機に向かう姿勢や、音読する為に気を付けるところを意識して音読できるように、学習時、音読時は、職員が必ず付いて行う意識している。	日々の、活動で活かせるように、保護様が参加できる行事の時に成果を見せられるように予定を組み、子どもたちが一つの目標に向かって音読等の強化が出来るようにしていく。
2	活動内容を固定化しないように、月の活動を決めて取り入れている。	どの曜日に通所しても、様々な活動に参加できるようにランダムに化している。	職員一人ひとりの考えや、提案を充実化して、預かりではない活動ができるようにしていく。決められたことだけではなく、発想力・想像力を常に更新していくこと。
3	ディスカッションを取り入れて、自分の気持ち表現や、相手の意見を聞いてグループセッションを行っている。	学校で活かせるように、子ども達の意見交換の場所として、全員が話し合いに参加できる雰囲気を作りながら、自分たちで進めていけるように職員が見守る中で行っている事。	学年がバラバラな為、お題を、職員が決めていたが今後は、子ども達にお題を決めて貰い、自分たちが決めたお題で話し合えるようにしていくこと。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内の環境状況	学習を行うときの環境を整えていくこと。	学習が落ち着いてできるように机等を児童に合わせて増やすことや、改善が難しい時には、集中ができる環境を整えてあげること。
2	父母会などができるような環境がつかれないこと。	保護者様との交流がすくない為、保護者様同士の子育ての悩みや、意見交換の場が作ること。	親子型参加を設けて年に数回行えるプログラムを用意していく。
3	災害に対する取り組みなどに対する意識が低いこと。	避難訓練等の様子や、災害があったときの対応など見え化していけない。	お便りなどで見え化していくことや、ご家庭ではどのように対応してるかも時期を決めて調査していく。